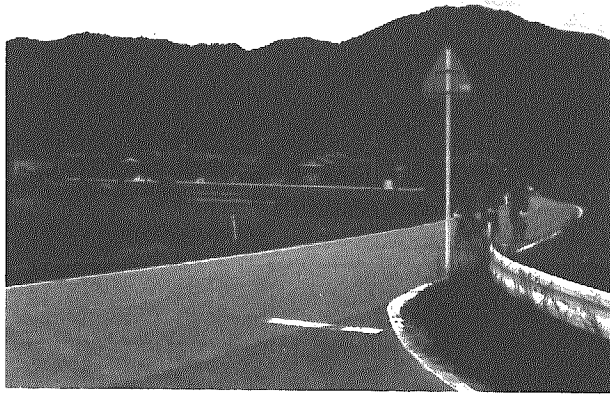


シリーズ  
**15**  
みなみやち  
南谷内

# 静けさの中に躍動感

田植え作業も終り、辺り一面が緑のジュータンにおおわれ、ほんとうに清々しい季節になりました。そこで今月号の「おじゃまします」地域情報ネットワークは、地区周辺が水田に囲まれ、いま春作業も終り一息ついた南谷内地区におじゃましました。



いままさに緑まぶしい田園に囲れた南谷内地区

ここ南谷内地区は、村内の南側に位置する集落で、地区の周辺は水田に囲まれた静かで穏やかな集落です。一時は、戸数が十九戸となったこともありましたが、現在では十七戸と固定し地区を形成しています。この南谷内という地名、谷内と付く地名は村内外でも多く見られますが、その中でも「南谷内」とい

う地区名は珍らしいものだと思います。

「うちの地区、もともとは現在のところが始まりではないらしいです。小字名に「古屋敷」というところがあるんですが、そこがこの地区の発生地ということらしく、そこから移り住んだという言い伝えが残っていますね」と地区の発生について話す金川区長さん。この地区は、周囲を水田に囲まれています。この水田もいまではすっかり整備されずばらしい穀倉地帯となっています。しかし昭和四十年代後半頃までは豪雨のたびに冠水し、それを苦勞の連続だったといえます。



当時、祭りや盆踊りには大勢が詰めかけた神社境内

「いまはすっかり整備され良くなりましたが、当時は、大雨が降るたびに水田は冠水し、地区総出で幾晩も水替え作業にあたったものです。そのころの排水作業といっても、小型ポンプによる作業ですから、ほんとに大変な苦勞でした。でも、いまはもうすっかりその心配もなくなり良くなりました」とその頃の様子を思い出しながら話す区長さん。ところで、南谷内地区では八年前からはじまった「一・七会」という珍しい会があります。この一・七会、最近、仕事の関係などで地区内同士でふれあう機会が少なくなつた



南谷内区長  
金川英二さん  
(59歳)

ことから、「それじゃあ日を決めて集まり交流をやるうじやないか」という声が上ががり、定例日を毎月十七日と決め、集まるようになったのがこの会のきっかけだといえます。

「この一・七会、いまでは我が地区で自慢できるもの一つです。これは、地区内の若者たちが中心となってやっています。毎月十七日に各家から一人ずつ参加し、色々な話を話したり懇親を深めたりしています。昨年なんかは、この会の盛り上がりから地区内ではじめてカラオケ大会が開かれました。いやあ、この日はお盆の十六日ということもあってか、地区中総参加でほんとうに盛り上がりました。ことしも計画されているようですので、いまから楽しみにしている人も多いようです」とこの一・七会の活動から若者たちの交流と地区のつながりがさらに深まったことを喜ぶ金川区長さん。

いまでは、この会を中心に綱引き大会などにも参加したりして、これからはますます楽しみな会だといえます。

いま、地域はなれなどが進むなか、若者たちを中心に地区内のまとまりが一層強まってきた南谷内地区。力強さを感じる地区でした。

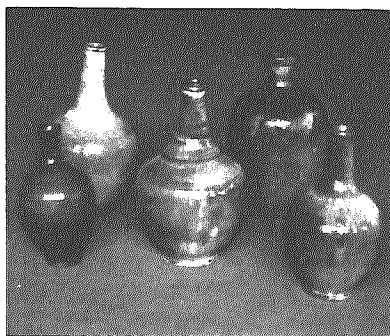
## 南谷内ミニデータ

(人口と世帯)	
人口	85人
男	39人
女	46人
世帯数	17世帯

(平成元年5月1日現在)

## 只今好評展示中

「甕れ岩室窯展」が今月十六日まで公民館ロビーで開かれています。この岩室窯は江戸末期に、岩室に登窯を築いたのがはじまりと言われています。今回の展覧会は、松郷屋焼、元窯元十三代当主阿部朋男さんの所蔵品、焼き損じ品徳利など十数点が展示されています。興味のあるかたは、ぜひ一度ご覧ください。



## ご協力を 農薬の航空散布

回数	実施日	時間
1回目	6月21日(水)	朝 4時30分 ～ 9時30分
2回目	7月7日(金)	
3回目	7月25日(火)	
4回目	8月8日(火)	